

第2回

宮城県における復興祈念公園基本構想

検討調査有識者委員会 資料

【第1回委員会の主なご意見】

平成25年12月10日



国土交通省 東北地方整備局 建政部

論点【南浜地区における復興祈念公園の意味】に関するご意見

- 【亀山委員】**祈りの場、追悼と鎮魂の場**が必要。南浜は今回の惨事を後世に伝承するのに相応しい場所。
- 【三浦委員】**震災を後世に、国内外に伝える**ことが我々の使命。多くの思いを汲み取り、深い悲しみを和らげる、今回の災害を伝える公園としたい。
- 【岸井委員】リアス海岸、平野部双方の被災状況が見られる南浜はふさわしい場所。この公園は、**被災地全体の追悼、伝承の要**となる場所となるべき。
- 【古藤野委員】地域では「**慰霊・鎮魂**」、「**歴史の伝承**」、「**減災**」に関する意見が多かった。新たなメッセージを発信する場所としても南浜は良い。
- 【牛尾委員】被災地の全ての方々の思いが形になれば良い。**さまざまな方々の連携の場**とできれば、この地がふさわしいといえる。
- 【今村委員】**記録・記憶の伝承**が大きな役割。複合災害の状況が実感できる南浜に設置することは妥当と思う。
- 【森山副委員長】住民の公園を求める声を強く感じている。**元来人家が無い場所**だったということも、**被災の教訓を伝承**する場として適地と思う。

【今後の公園の検討】に関するご意見

- 【亀山委員】他の被災地と連携し、全ての被災地域の方々に訪れて頂く場、震災の教訓を学べる場、海外に復興した姿を発信できる場としたい。
- 【三浦委員】子供の声や感性を生かしたい。地域自らが公園を支えていくという気持ちの持てる公園とし、他の被災地ともネットワークをつなぎたい。
- 【岸井委員】他の被災地と連携する仕組み、公園を検討するプロセスが大切。北上川、日和山など公園の周辺を含めたシナリオが必要。
- 【古藤野委員】国内外にメッセージを発信し、様々な方の手を借りながら公園を作り、管理していくことで、国際交流・文化交流につなげたい。
- 【牛尾委員】震災のことが被災地以外では風化しつつある。目に見えるものを内外に発信することが必要。
- 【今村委員】公園の敷地が広いので、どのような施設を設けるか国、県、市の役割の整理が必要。
- 【森山副委員長】北上川、日和山、敷地の広さなどを活用した公園にできると良い。復興祈念という観点では、地域の活性化ということも求められる。